

消費者問題ネットワーク しずおか通信

2013.7.23 No.16

事務局；静岡県生活協同組合連合会

TEL054-253-5987 FAX 054-272-6971

e-mail:mt-fuji@msa.biglobe.ne.jp

URL:http://www5b.biglobe.ne.jp/~kenren



消費者の権利と責任とは、

- 【8つの権利】** ①生活のニーズが保証される権利 ②安全への権利
③情報を与えられる権利 ④選択をする権利 ⑤意見を聞かれる権利
⑥補償を受ける権利⑦消費者教育を受ける権利 ⑧健全な環境の中で働き生活する権利
- 【5つの責任】** ①批判的意識を持つ責任 ②主張し行動する責任 ③社会的弱者への配慮責任
④環境への配慮責任 ⑤連帯する責任<国際消費者機構が1982年提唱・ハンドブック2010より>
- 「消費者教育を受ける権利」は30年たってやっと法制化されました。そして消費者力とは、「消費者の責任」として明記されていることに気づきました。

2012年度第6回幹事会議事録

◇日時：7月18日（木）10：00～11：10

◇会場：静岡県司法書士会館 4階 司ホール

1. 報告承認事項

- (1) 12年度第5回幹事会議事録を承認した。
- (2) 静岡県消費者教育推進事業への応募について色川代表より「静岡県消費者教育事業企画書(案)」の提案があり、応募することが承認された。
- (3) 「地方消費者グループ・フォーラム」実行委員会への参加小野事務局長が、実行委員として参加。
- (4) 加入申込 個人会員3名の加入が承認された。

2. 報告事項

- (1) ホームページ作成の検討について

3. 次回幹事会の日程

日時 9月17日（火）13：30～

静岡県消費者教育事業企画書

消費者ネットワークしずおかとして、「消費者問題を身近な問題として捉えきれていない大学生に消費者教育授業を行うための教材を開発する」企画

会場：ユーコープしずおか県本部

*初めの1時間を模擬講座とし、
労金から「クーリング・オフを知ろう」「お金を借りるときに知っておきたいこと」「クレジットの仕組みとカードの利用」の内の2講座

総会が開催されました。

第8期通常総会

7月18日(木)13:30

静岡県司法書士会館

第8期通常総会が7月18日に開催されました。

*来賓<5名、○印の方に挨拶をお願いしました。>

- ①. 静岡県くらし・環境部県民生活課 神村明利課長
- ②. 静岡市生活文化局市民生活部 消費生活センター 白鳥 孝子所長
- ③. 浜松市 市民部市民生活課 太田 克彦主幹
- ④. 静岡県労働者福祉協議会 吉岡 秀規理事長
- ⑤. 静岡県司法書士会 増田 真也副会長

*総会欠席の個人会員の皆さんには、2012年次レポートと総会資料を届けます。ご覧下さい。

総会終了後、学習会を行いました。

14:30~16:00

学習会

「消費者教育を考えるヒント」

～消費者教育推進法の
成立をきっかけに～

公益財団法人消費者支援センター
柿野成美総括主任研究員



学習会の講師をお願いした柿野さんは、静岡大学の卒業生であり、静岡県「ふじのくに消費教育研究会」の委員の1人でもあります。〈ふじのくに消費教育研究会は、「ふじのくに消費教育あり方報告書～静岡県消費教育の推進のために～」を、平成25年3月に報告〉

昨年、消費者教育推進法の成立を受けて、取り組んでいく各団体(学校教育・消費者団体・消費者行政・事業団体)の現状と課題を、わかりやすく話していただきました。

相談業務を通して感じること 静岡県東部県民生活センター消費生活相談員 深見好枝

～現代お金事情～その2

高齢化の波は、日中の街中でも如実に感じることができます。

フランチャイズのコーヒーショップにもリタイアした60～70代の高齢者がたくさんいます。コーヒーショップである日、聞こえてきた会話をご紹介します。

A 爺「あんた退職金どうしてる？」

B 爺「どうしてるって。ウチにゃ置いとけないだで、銀行に入れてあるさ」

A 爺「ダメダメ。銀行なんか置いといたって何も増えやしないさ。ウチのカミさんがさあ、3丁目のCさんに貸してやって利息もらってさ、その金で友達と旅行に行ってるよ」

B 爺「Cさん。金に困ってるのか？」

A 爺「んだよ。婆さんがポケちゃってさ、結構金かかって大変らしいよ。最近はさ、サラ金もなかなか貸してもらえない。だから、金ない奴はヤミ金に手出すだよ。トイチとか高利貸しのあれだよ。退職金を回してやってサラ金と同じ利息貰うだよ。ヤミ金に手出すよりいいいら？ 100万くらい貸してやって10万くらい利息つけりゃこっちも銀行置いとくよりよっぽどいいいら～」

B 爺「頭使わにゃダメだな。ところであんた、いくら儲けた？」

A 爺「わかんねえ。カミさんがやっているから。ちょくちょく旅行行ってるから、結構儲けてるだと思ふよ。」

B 爺「旦那の退職金で女房が儲けてるのかね？」

A 爺「そうだよ。女は強かだからね。」

奥の席のA 爺の妻に向かって

A 爺「おーい、Bさんちのカミさんに金儲けの術を教えってやってくれろってさ」

A 爺の妻「やだよー。内緒なんだから人に言っちゃ困るだよ。アッハハ！！」

妻の友人たち「なになに？儲かる話って？」

「あなたのやっていることもヤミ金ですよ」と・・・とても恐ろしく感じました。